

2019年 チエコ政治情勢

2019年11月15日
在チエコ日本国大使館
政務班 丸山

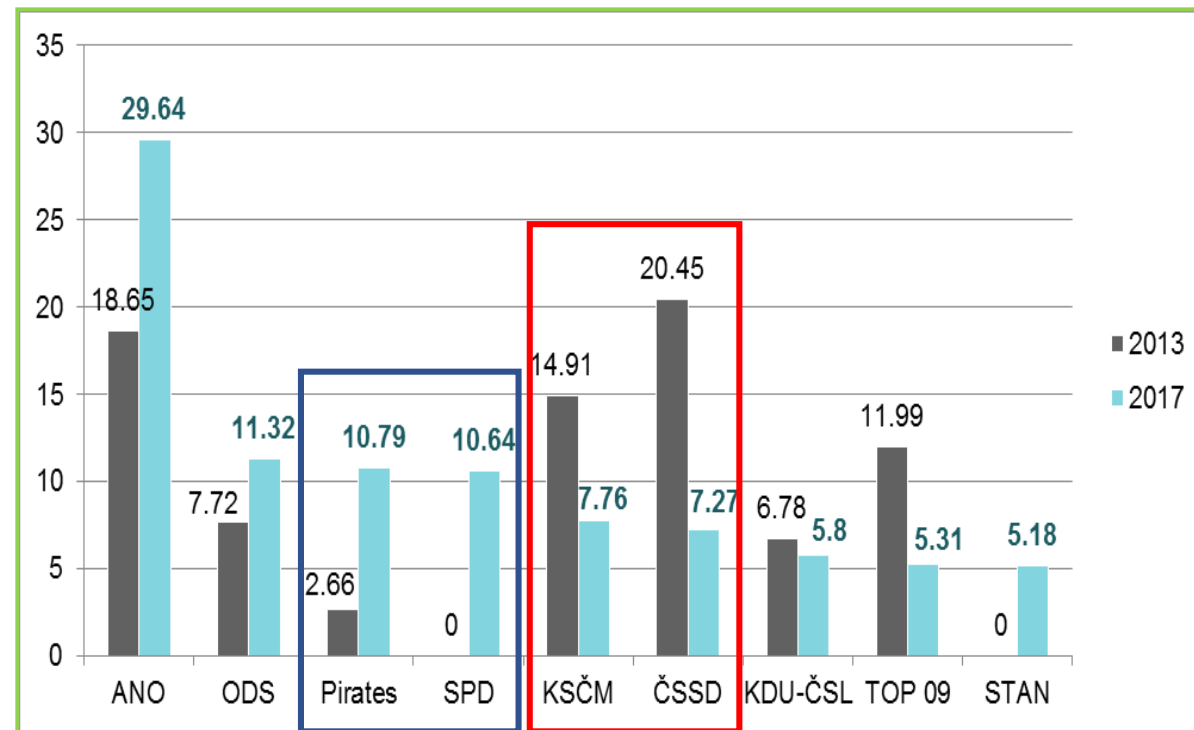
1. 下院選挙（2017年10月）結果
2. 下院選挙から新内閣発足までの動き
3. 現在の議会議席数と連立内閣の顔ぶれ
4. バビシュ政権安定性 （1）3閣僚の交代
5. // （2）文化大臣の交代
6. // （3）CSSDの動向
7. // （4）不正疑惑
8. まとめと展望

【キーワード】

ANO （与党：中道右・左派）	：バビシュ首相率いる与党第一党
CSSD 社会民主党 （与党：中道左派）	：連立与党第二党
KSCM チェコモラビア共産党（閣外協力：左派）	：閣外協力
SPD 自由と直接民主主義（野党：右派）	：オカムラ党首率いる野党右派政党

1 下院選挙（2017年）結果

政党名		議席	増減	得票率
ANO		78	↑ +31	29.64%
ODS	市民民主党	25	↑ +9	11.32%
Pirati	チェコ海賊党	22	↑ +22	10.78%
SPD	自由と直接民主主義	22	↑ +22	10.64%
KSCM	チェコ・モラビア共産党	15	↓ -18	7.76%
CSSD	社会民主党	15	↓ -35	7.27%
KDU-CSL	キリスト教民主同盟・人民党	10	↓ -4	5.80%
TOP 90		7	↓ -19	5.31%
STAN	無所属および首長連合	6	↑ +6	5.18%



- ✓ 過去最多の9政党が議席獲得。
- ✓ ANOは200議席中78議席獲得。第一党なるも過半数に及ばず→単独少数内閣樹立を目指す。
- ✓ 左派政党：社会民主党（CSSD）と共産党（KSCM）の後退。
- ✓ 新党「海賊党（Pirati）」「SPD（自由と直接民主主義党：オカムラ党首）」の躍進。

2 下院選から新内閣発足までの動き

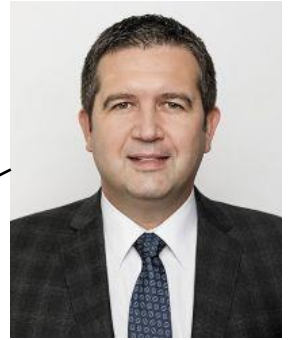
2017年10月	下院選挙→ ANOの勝利 。 過半数には届かず （78議席／200議席）
2017年12月	第一次バビシュ内閣任命→下院信任否決
2018年1月	<u>第一次バビシュ内閣辞職</u>
	→暫定内閣として職務を継続しつつ、連立協議。
	社会民主党（CSSD）・共産党（KSCM）と再協議。
2018年6月15日	<u>CSSDがANOとの連立参加決定</u>
	→過半数に僅かに及ばず（93議席／200議席）
2018年6月27日	第二次バビシュ連立内閣任命
2018年7月10日	<u>KSCMがANOとの閣外協力に同意</u>
2018年7月12日	<u>バビシュ内閣が下院で信任（賛成105票、反対91票）</u>
	→ <u>第二次バビシュ内閣始動</u>
	<u>連立協定により、CSSDが14閣僚ポストのうち5ポストを獲得</u>

3 (1) 議会議席数と連立内閣

政党名		下院	上院
ANO	与党：中道右・左派★	78	7
ODS (市民民主党)	野党：中道右派	23	18
Pirati (チェコ海賊党)	野党	22	
SPD (自由と直接民主主義)	野党：右派	19	
CSSD (社会民主党)	与党：中道左派★	15	
KSCM (チェコ・モラビア共産党)	閣外協力：左派★	15	13
KDU-CSL (キリスト教民主同盟・人民党)	野党：中道右派	10	15
TOP 09	野党：中道右派	7	
STAN (無所属および首長連合)	野党：中道右派	6	19
その他 (無所属等)		5	9
合計		200	81



バビシュ ANO 党首



ハマーチェク CSSD 党首



フィリップ 共産党党首

3 (2) 第2次バビシュ内閣



4 バビシュ政権の安定性 (1) : 閣僚の交代

☆2019年4月29日
バビシュ首相提訴
(EU助成金問題)
☆2019年4月30日
3閣僚の交代を発表

- 「司法の独立」への挑戦
- バビシュ政権への抗議デモ
- 6月レトナー公園で最大規模のデモ展開 (25万人)

法務大臣の交代



クネジーネク → ベネショバー

運輸大臣の交代

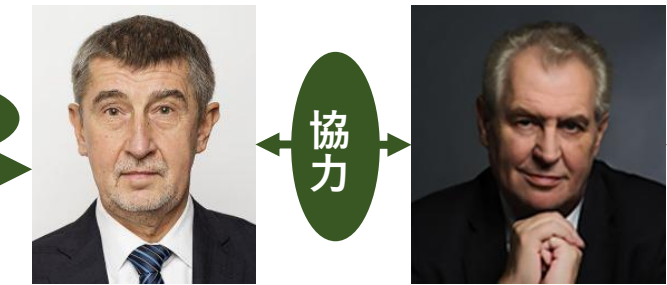


チョク → クレムリーク

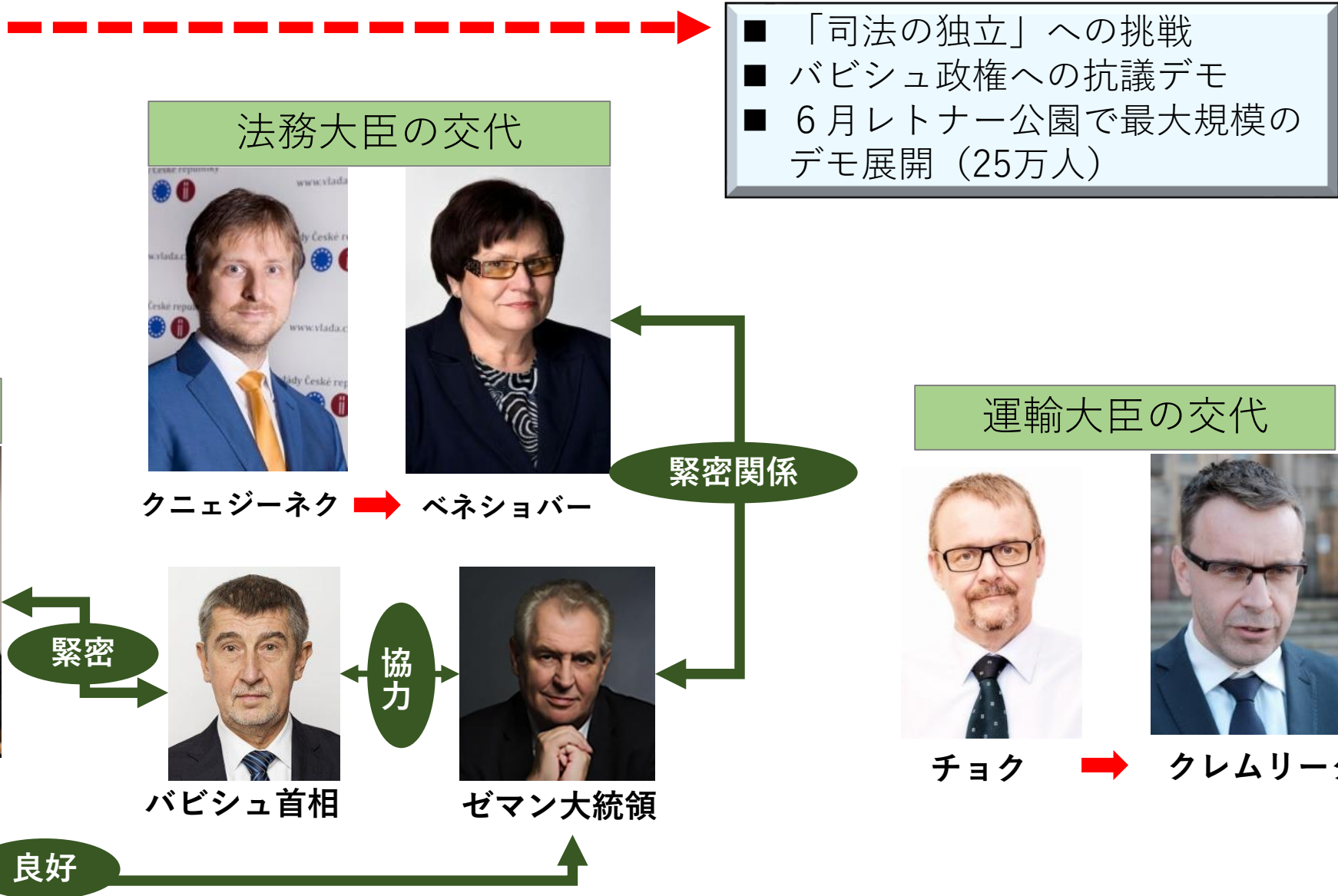
産業貿易大臣の交代



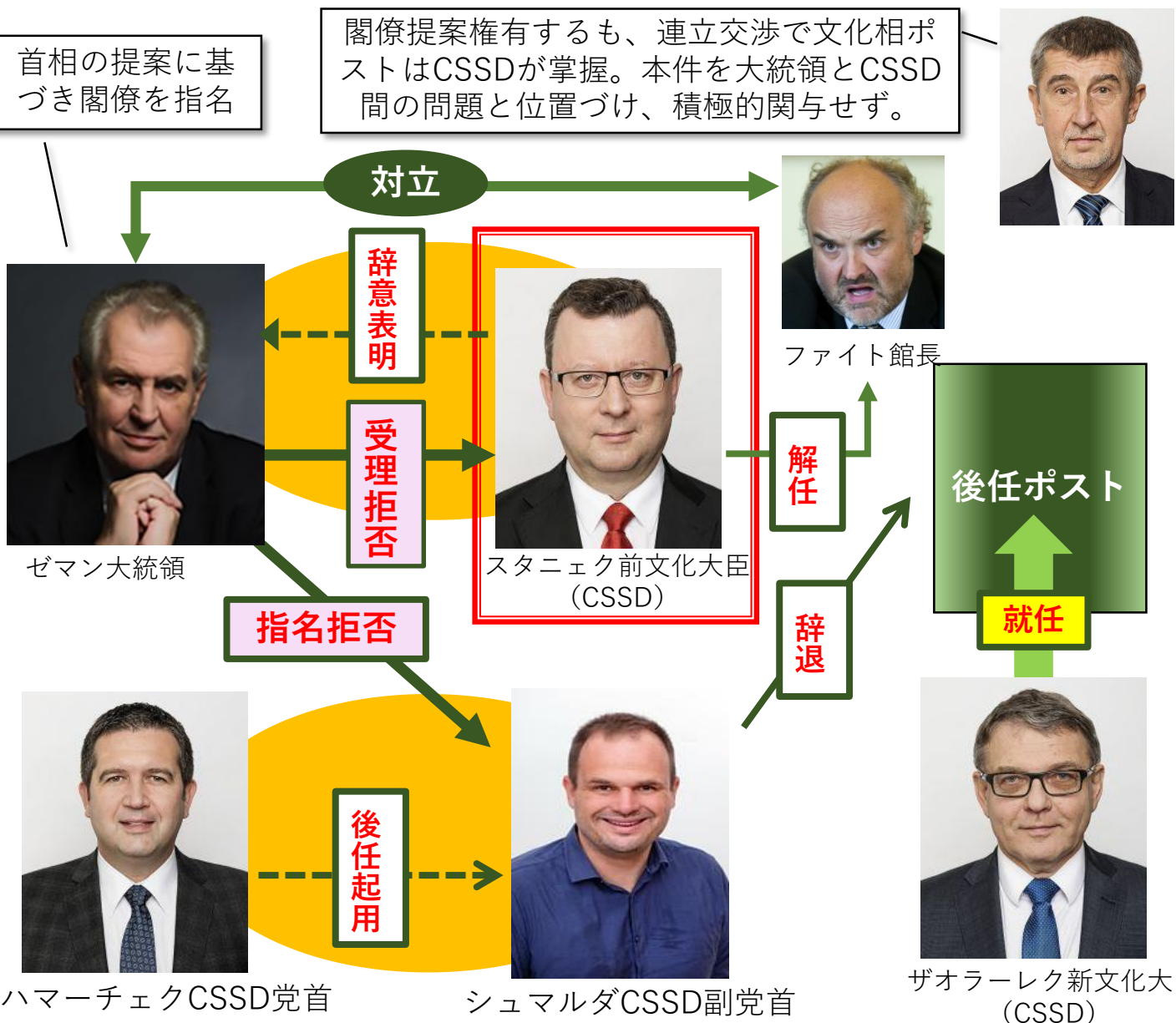
ノバーコバー → ハブリーチェク



バビシュ首相 ← 協力 → ゼマン大統領



5 バビシュ政権の安定性（2）：文化大臣後任問題



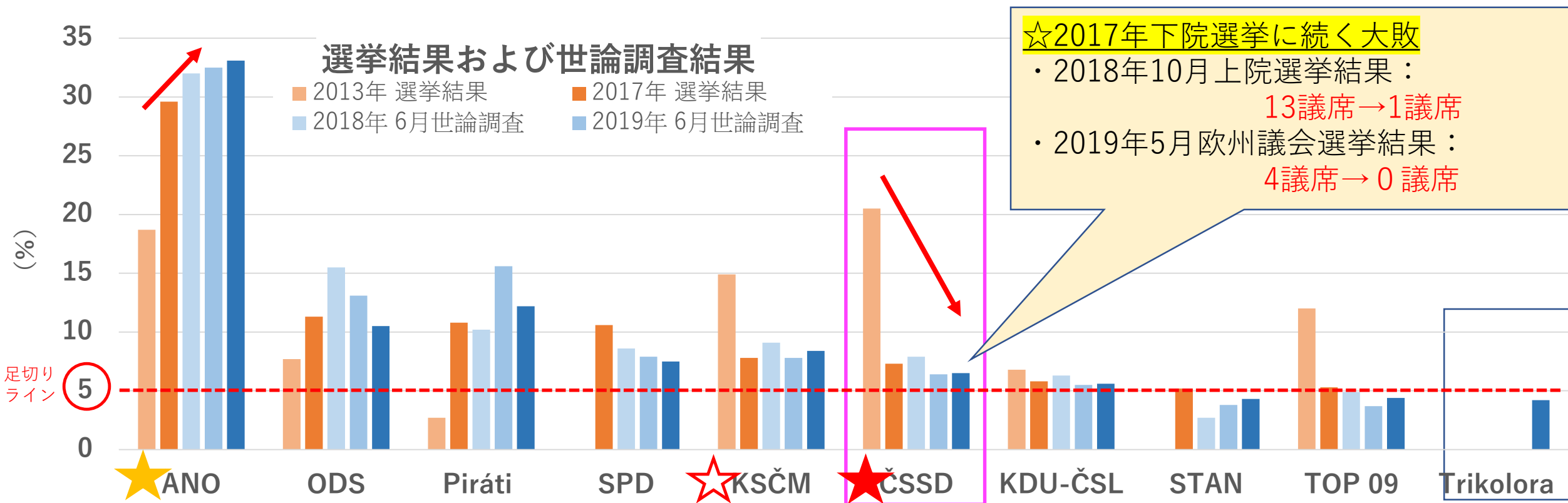
文化大臣交代に纏わる一連の動き（2019年）

4月	文化大臣がプラハ国立美術館館長を解任 →芸術関係者によるデモ発生・拡大
5月20日 5月28日	スタニェク文化大臣辞意表明 →ゼマン大統領辞任を受理せず →後に受領
5～8月	CSSDが後任にシュマルダ副党首を指名 →ゼマン大統領指名拒否 →7月15日CSSD幹部会で大統領がシュマルダ氏を任命しない場合、CSSD閣僚辞任も辞さない →CSSD政権離脱の危機
8月	シュマルダ副党首が文化大臣ポストを辞退 (反バビシュ・連立政権からの離脱を主張)
8月27日	ザオラーレク氏が文化大臣に就任 →外相・下院議長経験・文化的素養あり。 →3ヶ月にわたるCSSD政権離脱の危機は収束。



- ・ CSSD支持率に影響
- ・ CSSD内に対バビシュ首相不信

6 バビシュ政権の安定性 (3) : CSSDの動向

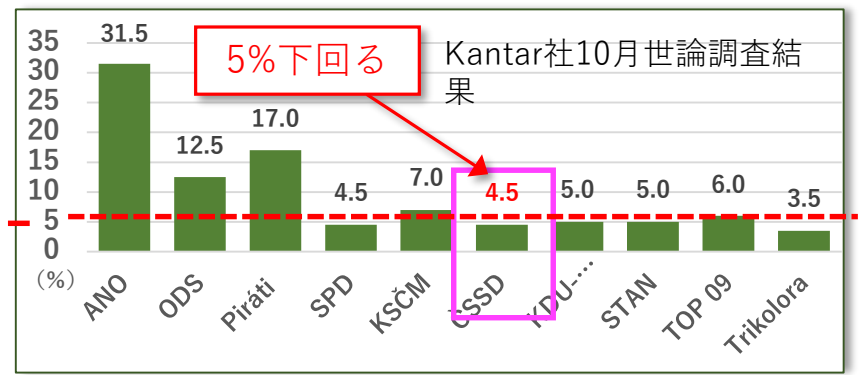


☆2017年下院選挙に続く大敗

- 2018年10月上院選挙結果：
13議席→1議席
- 2019年5月欧州議会選挙結果：
4議席→0議席

☆党内分裂 (親ゼマン派/反ゼマン派・連立支持派/連立離脱派)

- 大臣交代劇で連立内での立場が更に弱体化
- CSSD支持率の更なる低迷 (足切りライン5%に接近)
- 最新世論調査では足切りライン5%を下回る
- 次期下院選挙 (2021年) を見据え、CSSD党内で連立離脱派の声が強くなる可能性





☆「コウノトリの巣」社事件

2008年「コウノトリの巣」社による中小企業向けEU助成金を不正取得した疑い（「コウノトリの巣」はバビシュ首相が設立したアグロフェルトグループの傘下）

2015年12月 チェコ検察捜査開始

2019年 4月 チェコ検察提訴

2019年 9月 プラハ市検察が刑事訴追手を停止

→12月17日までに最高検察官が停止決定を評定

☆EU補助金利益相反疑惑

アグロフェルト・グループがEUから多額の補助金を受領。EU委員会がバビシュ首相の利益相反疑惑に関する報告書を作成中。11月中に最終報告書を提示予定。

☆拡大する抗議デモ

法務大臣交代やEU利益相反疑惑が引き金となり、89年のビロード革命以来最大規模の抗議デモ。



☆野党による不信任決議案（賛成101票で可決）

2018年11月コウノトリの巣事件： 賛成92票・反対90票 → 否決

2019年6月利益相反疑惑・抗議デモ： 賛成85票・反対85票 → 否決

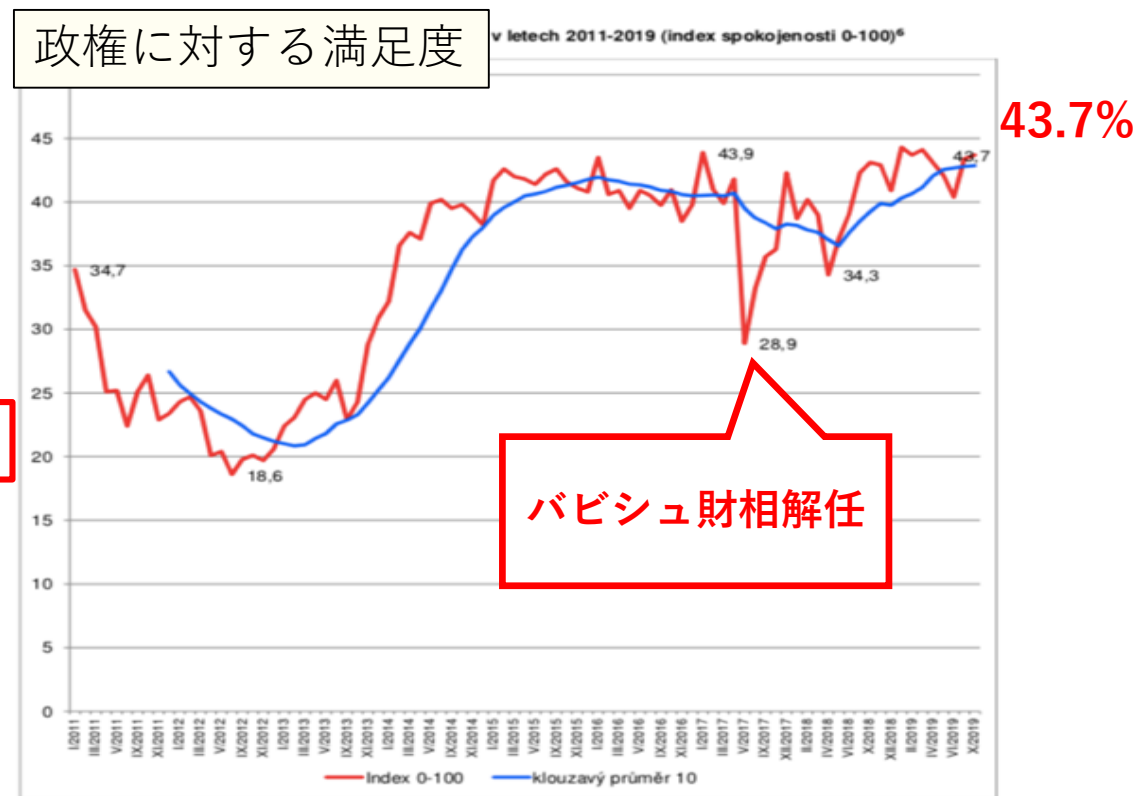
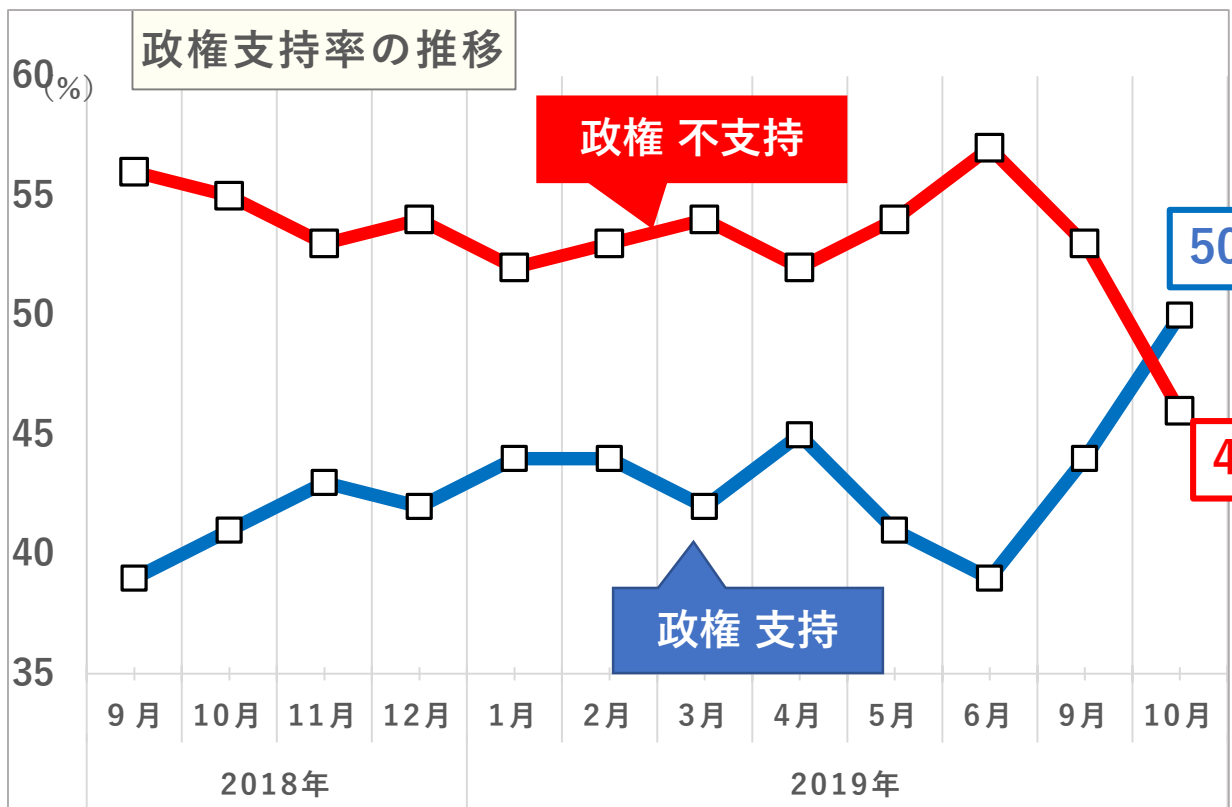
- ◆不安定要素あるも、バビシュ支持率は高水準。
- ◆野党陣営まとまらず。クラウドJr. 新党結成。



クラウドJr.党首

◇世論調査各社によるトリコロール党の最新支持率

STEM社	Kantar社	CVVM社
4.2%	3.5%	3%



引用：Centrum pro výzkum veřejného mínění, Sociologický ústav AV ČR, v.v.i.